

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度		科目名	コンサートプロダクト3	
科目基礎情報							
開設学科	コンサート・イベント科		コース名	コンサート舞台コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	270時間
単位数	9単位		授業形態	実習			
教科書/教材	資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	田城 佳子			実務経験の有無・職種	無		
学習目的							
1 年次で得た技術、知識をもとに、即戦力となる舞台スタッフを目指す実習。片柳記念ホールでの実習だけではなく外部のホールを使用した本番実習を行い、より現場に近い環境で実習に取り組む。本番を成功させる為に、各コースとコミュニケーションを取り、現場が動いている中で臨機応変に対応できる舞台スタッフを目的とする。							
到達目標							
スキルアップを図るため外部のコンサート会場を使用した本番実習を行う。各セクション、出演者サイド、会場スタッフとのコミュニケーションの精度を上げ搬入から本番・撤収までを安全に終える事を目標とする。自ら考えて行動しエンタテインメント業界で即戦力として活躍できる人材となる事を目標とする。							
教育方法等							
授業概要	コンサート舞台スタッフとしての必要な知識のスキル・アップをはじめ、プランニングや関連業務のスピード・アップと精度を上げます。舞台スタッフとしての基本業務を確実にこなし更なる向上を目指します。外部のコンサート会場を使用した実習を行う事により現場に近いコンサート実習を実践的に学びます。各セクションとの連携を通じてコミュニケーション能力を養います。						
注意点	授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消する事。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	0%					
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	30%	本番実習での協調性、臨機応変さにて評価する。				
平常点	70%	積極的な授業参加、協調性、授業態度によって評価する。					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	1年次の復習①			山台、ライザー作製、各セクションの仕事内容を復習することができる。			
2 回	1年次の復習②			Drセットの組み方、Gt Amp、Ba Ampのセティング、電源の引き方を復習することができる。			
3 回	サマーライブに向けて（マイナビBLITZ赤坂ホール 図面確認）			マイナビBLITZ赤坂ホールの舞台機構を理解することができる。			
4 回	サマーライブに向けて（道具プラン思案・道具帳作成・特殊効果思案）			BLITZを想定し舞台セット図を思案、特殊効果の種類を理解することができる。			
5 回	サマーライブに向けて（道具プラン検証）			BLITZのステージを想定し、道具のサイズ、重量計算を理解することができる。			
6 回	サマーライブに向けて（ホール下見、質問事項 思案）			ホール下見時に、何を確認するべきかを理解し、会場サイドに確認することができる。			
7 回	サマーライブに向けて（タイムテーブル、進行表 作成）			アーティスト資料をもとにタイムテーブル、進行表の作成ができる。			
8 回	サマーライブに向けて（立ち位置図面、楽器セティング図 作成）			アーティスト資料をもとに立ち位置図面、楽器セティング図の作成ができる。			
9 回	サマーライブに向けて（プロダクションミーティング）			作成資料の説明、質問事項を考え、プロダクションサイドに確認することができる。			
1 0 回	サマーライブに向けて（楽器転換 思案）			各バンドのセティング図をもとに、スムーズに転換ができるよう、流れを理解することができる。			
1 1 回	サマーライブに向けて（仕込練習・転換練習・テクリハ）			実際に校内にて仕込、転換、テクリハを行い、問題点を検証することができる。			
1 2 回	サマーライブに向けて（積み込み準備）			仕込段取りを踏まえ、積み込み手順を考えることができる。			
1 3 回	サマーライブ仕込（マイナビBLITZ赤坂）			仕込段取りを理解し、各コース安全に搬入から仕込を終えることができる。			
1 4 回	サマーライブ本番（マイナビBLITZ赤坂）			タイムテーブルに沿って、リハーサルから本番・撤収まで、安全に終えることができる。			
1 5 回	サマーライブ反省会			本番を終えての振り返り。問題点を出し合い、次回のイベントに向けて解決方法を考える。			

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	コンサートプロダクト 3	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート企画コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	270時間
単位数	9単位	授業形態	実習		
教科書/教材	資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	村上 勝志		実務経験の有無・職種	有：マネージメント、A&R、プロデューサー	
学習目的					
1 年次で学んだ企画スキルをもとに、即戦力となるイベント企画スタッフを目指す実習。年間を通じてより実践的な学内外のイベント実習を行う。イベント会社との産学協同プロジェクトによるイベントや八王子市が主催するイベントへの参加、学園祭でのプライダル・イベントの企画&実施等など学内外の様々な人たちとコミュニケーションを取ながらイベントを企画して行くことにより、世の中の色々なニーズに答えられる企画力を養う。将来、イベント業界やエンタテインメント業界の現場で通用するプレゼンテーション力やコミュニケーション力、判断力や行動力のスキルアップを図り、卒業後に即戦力として活躍できる人間力の高いプロの企画スタッフの育成を目的とする。					
到達目標					
スキルアップを図るため学内外の様々な人たちとコミュニケーションをとり、発想力やプレゼンテーション力、コミュニケーション力を磨く。産学協同プロジェクトや八王子市のイベント参加を通じて社会人として通用するコミュニケーション能力や人間力を身に付ける。将来、イベント業界やエンタテイメント業界で即戦力として活躍できるような人材となる事を目標とする。					
教育方法等					
授業概要	イベント企画スタッフとしての必要な知識や発想力のスキル・アップを図ります。企画のプランニングや関連業務のスピード・アップと精度を上げます。企画スタッフとしての基本業務を確実にこなし更なる向上を目指します。学内外の様々なイベント実習を行いイベント企業や官公庁の方々や他カレッジの学生など様々な人たちとのコミュニケーションを通じてイベント実習を実践的に学びます。				
注意点	授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消する事。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	10%	グレードテストを行う		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	80%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1 回～1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	企業イベントの 準備		企画内容のプレスト		
2 回	企業イベントの 準備		企画内容の絞り込み、プライオリティーの決定、チーム編成		
3 回	企業イベントの 準備		セクションごとに準備を進める		
4 回	企業イベントの 準備		セクションごとに準備を進める		
5 回	企業イベントの 準備		セクションごとに準備を進める		
6 回	校外実習（企業イベント準備）		「"どきどき"フリーマーケット」幕張メッセにてイベントの準備		
7 回	校外実習（企業イベント実施）		「"どきどき"フリーマーケット」幕張メッセにてイベントの本番で実践的な理解を深める		
8 回	サマーライブ 企画準備		企画内容のプレスト		
9 回	サマーライブ 企画準備		企画内容の絞り込み、プライオリティーの決定、チーム編成		
1 0 回	サマーライブ 企画準備		セクションごとに準備を進める		
1 1 回	サマーライブ 企画準備		セクションごとに準備を進める		
1 2 回	サマーライブ 企画準備		セクションごとに準備を進める		
1 3 回	サマーライブ企画仕込(マイナビBLITZ)		外部会場での会場準備、リハーサル、運営シュミレーション		
1 4 回	サマーライブ企画本番(マイナビBLITZ)		外部会場での本番運営、撤収まで安全に終える。本番で実践的な理解を深める		
1 5 回	サマーライブ企画 反省会		本番を終えての振り返り、次のイベントに向けての改善点を考える		